

大会の参加に当たって

- (1) 入館前5日間において、以下の事項に該当する場合は、入館できない。
入館者全員に該当しないか確認しておくこと。
 - ・ 平熱を超える発熱
 - ・ 咳（せき）、のどの痛みなどの風邪の症状
 - ・ だるさ（倦怠感）息苦しさ（呼吸困難）
 - ・ 嗅覚や味覚の異常
 - ・ 体が重たく感じる、疲れやすい等の症状
 - ・ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある場合
- (2) 入館前14日以内に、政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合は、入館できない。
- (3) 「健康チェック表」を入館者全員が持参しているか確認すること。提出できない場合は入館できない。必ず責任者が、選手ならびに来場者の健康状態を確認し、確認欄に押印またはサインをすること。宿泊を伴う場合は、当日の検温ができるように各自の体温計を持参しておくこと。
- (4) マスクを着用していない者は入館を認めない。館内では、泳ぐとき以外はマスクを着用すること。招集所内でもマスクを着用し、会話を控えること。入場準備の際はマスクをはずしてもよい。招集所ではずしたマスクは、服のポケットか袋に入れること。
- (5) コーチは、ウォーミングアップ時の大きな声での指示、ホイッスルの使用を控えること。
- (6) 入館から退館時までの全ての場面で、人との距離をとって行動すること。
- (7) 唾や痰をプールサイドに吐かないこと。（レース直前のスタート台付近や、サブプールでの練習時）
- (8) 食事は、選手席・選手控え場所のみで、人との距離を保ち単独で取ること。
- (9) 会場までの交通機関内で、マスクの着用、人との距離、車内換気、会話などに留意すること。

1 競技について

- (1) 本競技会は、2022年度(公財)日本水泳連盟競泳競技規則に則り実施する。
- (2) 競技は、予選・B決勝・決勝8レーンで行う。
- (3) B決勝・決勝は、予選の結果、上位8名が出場できる。ただし、棄権者が出たときは、次点上位より順次出場権を与える。
- (4) B決勝・決勝の進出について、同記録で予定人員を超えた場合は、抽選で優先順位を決定する。
- (5) 補欠が同記録で複数いる場合は、抽選を行う。補欠は2名とする。
- (6) 招集は、競技開始10分前から行う。招集の際に水着の確認を行う。
- (7) 予選を棄権する場合は、所定の用紙に記入し、競技開始20分前(9:40)までにリゾリレーションデスクに届け出ること。(厳重注意する。)
- (8) B決勝・決勝を棄権することはできない。やむなく棄権する場合は、その予選競技終了後1時間以内に、棄権料2,000円を添えてリゾリレーションに届け出ること。無断で棄権した場合は、棄権料2,000円と罰金2,000円を徴収する。
- (9) 競技成立後は、折返監察員の指示により自レーンから退水すること。
- (10) 選手紹介は、予選は組のみの紹介、B決勝は各レーンで紹介、決勝は入場ゲートで紹介を行う。
- (11) 予選競技において参加人数が25名以下の下記の種目はB決勝を行わない。
 - No. 11 女子 1年生 100m 個人メドレー
 - No. 15 男子 1年生 100m 個人メドレー
 - No. 27 女子 1年生 50m バタフライ

2 表彰について

- (1) 1位から3位にメダルを授与する。

3 全体スケジュール

日時	開門時間	予選競技		決勝競技		閉門時間
		開始時間	終了予定	開始時間	終了予定	
3月12(日)	8:30	10:00	13:45	15:00	16:50	17:30

4 プールの使用について

新型コロナウイルス感染拡大防止のため練習時に、各レーン内で待機する場合、スタート練習で並ぶ場合も距離を保つこと。練習時の大きな声での指示は控えること。メインプールでのスタート練習中は電子ホイッスルのみ使用可とする。

(1) メインプール

- ① 使用時間帯 8:30~9:45 / 13:40~14:30
- ② 練習は競技開始15分前までとする。
- ③ 昼休みの練習は、当日の決勝の出場者のみの使用とする。
- ④ 7・8レーンはダッシュレーン ※8:30~9:00までは、各チームで行う。
- ⑤ 9:00~9:30より全コースダッシュレーン(公式スタート練習を行う。)

(2) アッププール

- ① 使用時間帯 8:30~17:00 ※7・8レーンは使用不可
- ② チーム責任者が必ず管理していること。

5 水泳場の使用について

- (1) 選手・コーチ及び・クラブ関係者以外は入館できない。
- (2) 8:10にチーム連絡を行います。責任者が参加してください。
- (3) 入館前に手指消毒・検温を受けること。入館時の検温で37.5度以上あった場合は、別の場所で再度検温する。それでも37.5度以上あった場合は入館できない。再入館する際も、手指消毒・検温を受けること。
- (4) 「健康チェック表」の提出について
 - ① 本連盟ホームページからダウンロードした「健康チェック表」に、事前に必要事項を記入すること。「健康チェック表」は、入館時に提出し、確認の捺印をもらう。
 - ② 大会期間中とも、外出後の再入館の際は、入館口での消毒・検温は行うが上記用紙をフォルダーに入れ、首からぶら下げること。
- (5) 入館から退館までの全ての場面で、人との距離をとって行動すること。
- (6) 控え場所はスタンド（スタンドの奥通路を使用する為、通路の場所取り禁止）
体育館通路・小プール横スペース・スタンド入口スペースなど
チームで敷物を用意すること。
- (7) 更衣室は更衣のみの使用とし、ロッカーは使用できない。更衣室を控え場所にしたり、食事をしたりすることはできない。置き荷物は、忘れ物として扱う。
また、競技会終了後、残った忘れ物は処分する。忘れ物は入口受付横に設置する。
- (8) 「競技会場における商業ロゴマーク等についての取り扱い規定」を厳守すること。
- (9) 泳ぐとき以外は、原則として常にマスクを着用すること（更衣室・招集所・観客席・プールサイド・トイレなど）。レース前にはずしたマスクは、服のポケットか袋に入れること。（マスクは、選手イス・脱衣ボックスに直接置かないこと）。
招集所内では、他の選手との十分な間隔をとること。
- (10) 招集所には、招集を受ける選手以外は立ち入ることはできない。選手は、招集所での選手間の会話、レース後の選手間の会話を控えること。
- (11) 食事を摂取する際には個別に摂取すること。やむを得ない場合には十分な距離をとり、対面しないようにすること。また食事時の会話は控えること。
ドリンクの回し飲みはしないこと。ゴミは全て持ち帰ること。
- (12) 選手は、自分のレース終了後、なるべく速やかに退館すること。ミーティング等は控えること。

6 注意事項、その他

- (1) 競技結果を、下記の公式サイトで確認することができる。
日本水泳連盟公認モバイルサイト「スイムレコードモバイル」
(http://swmexp.japan-swimming.jp/webexpswim/StartIndex_free)